

『ガラス造形展 ～後藤洋一の世界～』

河北新報・11月11日（火）朝刊掲載記事

河北新報

11月11日（火）



後藤さんの新作「感性の流れ」

カルチャール 散歩

登米市のガラス造形家後藤洋一さん(51)の個展「後藤洋一の世界」が、仙台市青葉区郷六のそあとの庭で開かれている。23日まで。

食器、オブジェといったガラス作品のほか、絵画や木のオブジェなど70点を展示。研磨剤をコンプレッサーで吹き付けて研磨する手法「サンドブラスト」

後藤洋一さん個展

ガラスの輝き神々しく

や、石ころの鑄型にガラスの粉を敷き詰めて融解させ成形する技法「パート・ド・ヴェール」などを使っている。

興味深いのは、割れた窓や瓶のガラス片、不良品のレンズなどを再利用した作品。小さなガラス片を塔のように積み上げたオブジェやガラス片を平皿状に継ぎはぎした作品は一見武骨だが、一度壊れたガラスに新しい命が吹き込まれ、神々しい輝きを見せる。連絡先はそあとの庭 022(398)8844。